

# 水墨画家 安藤 美香 Mika Ando



1980年長野県生まれ。高校卒業後、19歳で中国に渡り、本場中国で15年間の水墨画修行を行う。その間、2009年北京で開催された日中韓首脳会談では、若手女流画家の日本代表として3カ国の首相に作品を披露するなど、日本を代表する水墨画家として活躍。その後、人間国宝「韓美林」に師事し、外国人初の水墨画での博士過程を取得し帰国。現在は、墨色の濃淡だけで表現する古典的水墨画に、豊かな色彩を取り入れた表現や、現代アートとしてのスタイリッシュな抽象表現など、新しい表現としての水墨画を日本で広めている。

## 【経歴】

2001 北京語言文化大学人文学院 芸術科中国画科 修了  
2005 中央美術学院 中国画系花鳥画班 本科 卒業  
2010 中央美術学院 中国画系花鳥画班 修士研究院 修了  
2013 中国芸術研究院 美術系中国画学科博士研究院 修了

## 【受賞】

2016 公益財団法人信毎文化事業財団 第21回  
信毎撰賞 受賞  
2019 シェル美術賞入選

## アトリエ清福居 代表

荘厳な空間に一つの世界を作り上げる天井画など  
独自の空間作品づくりが反響をよび、多方面で活躍中。

### 《水墨アート事業》

- ・商業施設、ホテルなど公共の場における絵画制作
- ・飲食店の看板、壁画、テーブルマット、コースターなど  
水墨アートによる店舗空間のプロデュース
- ・お寺など日本古来の建造物における天井画・襖絵
- ・自身が制作した水墨画作品の販売
- ・法人・個人からのオーダーによる水墨画作品の制作

### 《水墨画の普及活動》

- ・子供や親子向けの手軽に楽しめるワークショップ
- ・NHKBS2「地球アゴラ」、中国国際放送局「美人すぎる  
水墨画家 安藤美香」等、メディア出演多数。

## 【個展】

- 2006・2010 「安藤美香水墨画展」(長野)  
2011 「花 de 彩る安曇野墨彩画展」(長野)  
「Mika Ando Chinese Painting Solo Exhibition」  
(フランス パリ)  
2014 「安藤美香水墨画展中国留学13年間のキセキ」  
2015 「新世代アーティスト展」(長野)

## 【グループ展】

- 2008 「国際芸術家交流展 Together」(北京)  
「中国国際文化交流展」(北京)  
2009 「アジア創造美術展」(東京 国立新美術館)  
「Asia of Spirit」(韓国 光州)  
2012 「第三回 日中芸術家交流展」(北京)  
2014・2017 「メタモルフォーシス」展(長野)

## 【WORKS・空間プロデュース】

- 2009 日中韓首脳会議用水墨画制作(北京)  
日中韓代表の女流作家3人による合作作品を披露



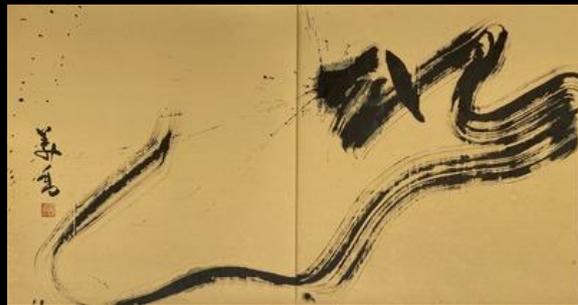
- 2014 長崎県長寿寺 襖絵制作  
2015 信濃毎日新聞「俳壇・歌壇」挿絵担当  
2015-18 長寿寺 天井画及び書院襖絵制作

「芸術、水墨アートは、非日常空間である美術館で鑑賞するためだけのものではなく、人々の心を日々豊かにするために、暮らしの中でこそ活かさねばならないもの」(安藤美香)

水墨画家として独自の作品を制作する一方で、水墨画を現代の生活にあった芸術として進化させることを使命とする美香は、お寺・店舗・オフィスから個人宅まで、水墨アートでの空間をプロデュースしています。—— 依頼主の想いにしっかりと耳を傾け、それぞれのコンセプトにあった唯一無二の水墨アート作品を新たに制作して設置することで、その空間が生き生きと輝きだして一気にグレードアップしてくれます。



バーの空間を 現代アートとしての水墨画でクールに



漢字の「水」を抽象的な模様にした水墨画。水のようにあるがままに生きる、という老子のタオの教えを表現。ストレスを洗い流してくれる癒しの空間を演出。また、バーには水が欠かせないという含みもたせている。



お菓子屋さんを カラフルな水墨画でほっこりと明るく



広い世代に受け入れられる作風という要望を基に制作。様々な商品が置かれた空間に、壁一面 大きな水墨画を飾ることで統一感が出て全体の空間が引き締まった。さらに、「卵」がテーマのお店に、「ひよこ」をモチーフとして描くことで、この絵が特注品であることもアピール。

長寿寺の天井画と襖絵 お寺を美術館のような空間に格上げ。  
天井画「雲龍図」(3×3m)、格天井「花画」80枚の杉板(1枚40×40cm)に1枚1枚丁寧に描いている／襖絵「四季花鳥図」

